

経営比較分析表（令和5年度決算）

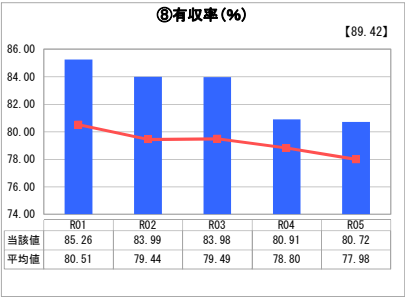
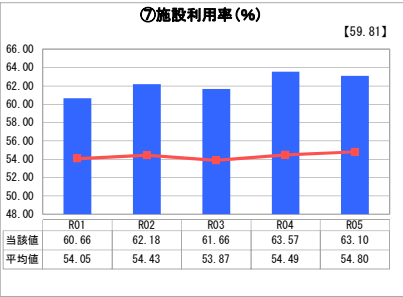
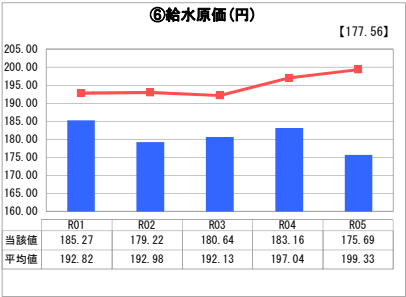
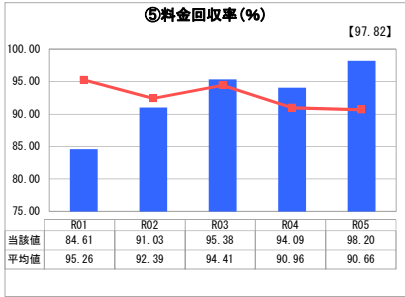
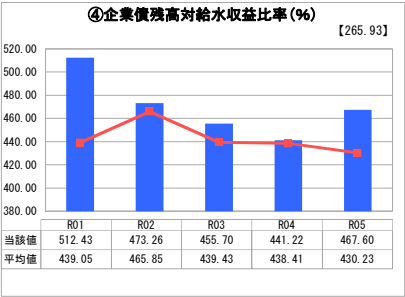
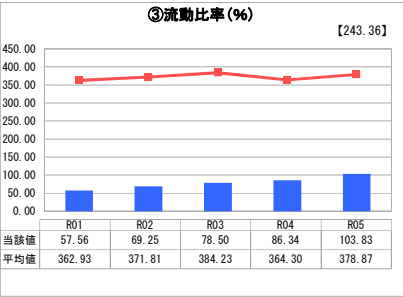
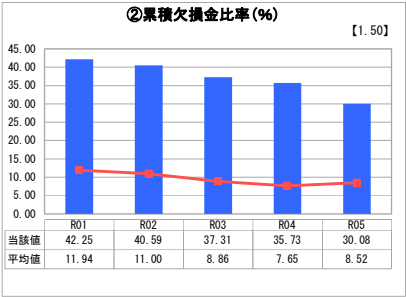
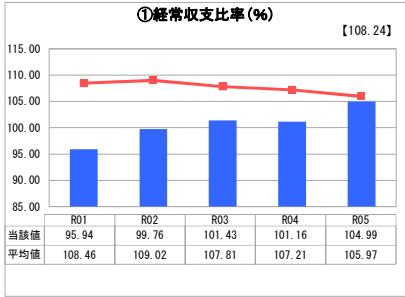
大分県 国東市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	59.16	53.76	3,410	

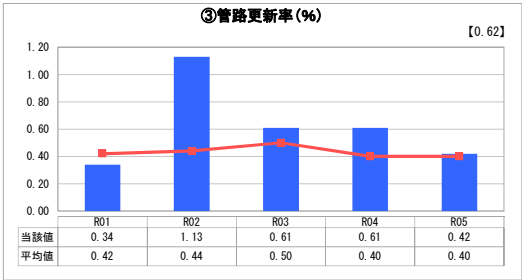
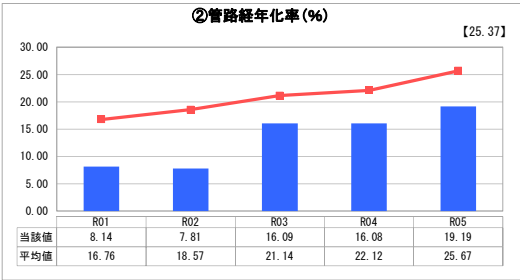
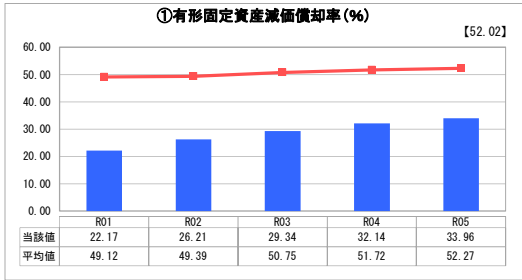
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,756	318.10	80.97
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,701	26.53	516.43

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①『経常収支比率』・・・経常費用が経常収益でどの程度賄われているかを表す指標です。100%以上となっていますが、給水人口が減少傾向であることから、今後も費用削減や料金収入の確保が必要です。

②『累積欠損金比率』・・・営業収益に対する累積欠損金の状況を表す指標です。0%を上回っており、今後も費用削減と料金改定を行う必要があります。

③『流動比率』・・・短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。100%を上回っており、直近1年以内に支払うべき債務に対する支払能力があるといえます。

④『企業債残高対給水収益比率』・・・給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標です。類似団体平均値を上回っており、今後も計画的な施設の更新を行うなかで、適切な企業債の借入を行う必要があります。

⑤『料金回収率』・・・給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄われているかを表した指標です。100%を下回っており、費用の削減や料金収入の確保が必要です。

⑥『給水原価』・・・有収水量1m³当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標です。類似団体平均値を下回っており、費用削減が進んでいるといえます。

⑦『施設利用率』・・・一日配水能力に対する一日平均配水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。類似団体平均値を上回っていますが、今後も施設の統廃合等を含め、適切な施設規模の検討を行う必要があります。

⑧『有収率』・・・施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標です。類似団体平均値を上回っていますが、低下傾向にあるため、今後も漏水対策等に取り組む有収率の向上を図ります。

2. 老朽化の状況について

①『有形固定資産減価償却率』・・・有形固定資産のうち、償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標です。類似団体平均値を下回っており、施設は比較的新しいといえます。

②『管路経年化率』・・・法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標です。類似団体平均値を下回っており、管路は比較的新しいといえます。

③『管路更新率』・・・当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標です。類似団体平均値を上回っており、今後も計画的な更新を行う必要があります。

全体総括

平成28年度から、11簡易水道と1給水施設で運営してきた事業を統合して上水道事業となり、公営企業会計に移行しました。移行により、水道料金を主たる財源とした事業運営が必要となることから、平成28年度から10%値上げした新料金を適用しました。また、令和2年10月1日から段階的従量制を導入したうえで、10%値上げした新料金を適用しました。

今後は人口減少による水道料金収入の減少や、老朽管の更新等に伴う費用の増加が見込まれ、厳しい経営状況となることが予想されます。国東市水道事業経営戦略に則り、中長期的な視点に立ち、料金改定の検討や計画的な施設の更新を行い、今後とも健全な事業経営を図っていく必要があります。